



法科大学院・公共政策大学院の概要



です。

カリキュラム編成の 指針と教育の特色

このような能力を育成するために、以下の四つの指針のもとにカリキュラムを編成しています。

第一に、制度の立案と運用に関わる知識を身につけるための法学、制度を動かしていくダイナミクスに関わる知識を身につけるための政治学、政策案の構築と評価を行うために必要とされる知識を身につける経済学、以上の三つのディシプリンがバランスよく学べるように配慮しています。第二に、応用を視野に入れた具体的事例を扱い、これを素材として教育を積み重ねていく事例研究をカリキュラムの中心に位置づけています。第三に、実務経験を積む機会を適切に行い得る場を、カリキュラムにご用意しています。

公共政策大学院の 教育目的

公共政策大学院は、現代社会が直面する諸課題を適切に認識し、これらの課題に対する対応策を構築・評価して、国民に対してこれらを伝達し、合意を形成していく力を養うことを目的としています。この能力は、具体的には、課題発見、解決案の提示、政策形成能力、国際的視野、さらにコミュニケーション能力の五つから構成されています。これらの能力をプロフェSSIONナルとしての高い倫理観に裏打ちされながら発揮できる人材を養成することが、本大学院の教育目的

